



近世畸人傳

四





翠

時人傳卷之四

柳澤洪國

洪國柳澤氏、律里恭、号と曼、一馬、玉樹、通名  
 權左、大如、那の、同姓の、吉、又、孝、武、御と、知て  
 人の、所、より、ふ、ま、り、る、藤、十、六、は、あ、り、ま、す、佛、子  
 の、心、より、心、俱、今、稱、と、す、一、律、と、あ、り、ま、す、  
 ち、や、中、ふ、も、西、の、吉、氏、兼、舞、水、傳、卷、の、縁、色、の  
 つ、は、を、純、の、紙、南、河、ふ、ま、り、く、こ、も、ふ、人、の、殺  
 起、世、これ、と、ま、り、あ、り、ま、す、漢、一、力、を、用、て、操、使  
 して、あ、り、ま、す、あ、り、ま、す、人、の、腹、を、通、ち、を、な、す、て、  
 中、ふ、も、あ、り、ま、す、兼、舞、水、傳、卷、の、縁、色、の、  
 殺、を、な、す、あ、り、ま、す、あ、り、ま、す、あ、り、ま、す、あ、り、ま、す、

時人傳























法之深也、其質之清也、

惠思院六如大僧都圖像贊、  
丈人以書畫著、名海內、余向以字通、屬相性、素知  
其人、蓋真耦、陰于小伎者也、頃有人齋、造  
像、求題、一辭、余亦飲、高風、不揣、無陋、輒為賦、長句、  
字、一毫、報、不致、友、飾、丈人、為、知、想、無、字、於、無、何、有  
之、鄉、美、

鷓鴣衣、蓬、髮、意、怡、然、之、後、近、禪、形  
肖、仙、遊、以、幼、懷、海、無、志、賣、以、不  
當、賞、以、我、織、材、滿、屋、終、宏、勝、川  
字、成、體、時、弄、琴、至、竟、深、心、惟、可  
會、宜、空、姓、字、藝、中、傳、









あつた。一帯の山々、谷間に、  
海から来た、大雑辛の、一帯、  
横切して、その、偶成、着て、  
つ、  
は、  
小、  
人、  
あ、  
神、  
は、  
て、  
介、

う、一帯の、  
地、  
つ、  
ぬ、

澤村琴所

南村舟洞 湖美如

表根、  
宮内、  
疾、  
ろ、  
小、  
野、











我身人肯忘機久、江邊、白鳥、莫相猜、

去來雲、即、遷、居、城、下、雨、來、應、接、日、多、不、堪、

其、烟、乃、將、辭、去、弄、別、語、也、

城、之、東、面、水、已、涸、乃、衣、轉、危、磨、埃、後、復、中、庭、

日、山、川、危、蕙、悵、於、靡、接、鶴、之、世、路、無、錯、多、

接、刺、其、酒、寧、復、同、送、金、橋、與、元、乞、歸、抱、

琴、如、去、行、歌、楚、水、陰、

与世

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~



寺の茶店は...  
何となく...  
かゝり...  
い...

年月を...  
幽栖...  
解...  
未...  
昂事

幽...  
昔...  
穎...  
三

有志...  
藏...  
月...  
何...

昔...  
あ...  
男...  
こ...  
は...  
く...  
右...  
近...





























築田秋庵

秋庵は山村氏、清河望田の海、豪農として、業  
事一に熟し、物の味と云ふこと、いふことの、存心易  
牙ふも、御守、侍りふの、活多し、は、ひよ、奴僕として  
御中の、如と、御守りて、業の、ふ、目らる、業を、  
所、一、令、む、を、精、可、よ、あ、さ、さ、と、御守、色、の、あ、又  
そ、あ、と、あ、る、と、御守、の、さ、さ、さ、御守、敷、く、さ、さ、と、は、ま、  
負、鳥、の、ゆ、ら、あ、と、あ、さ、御守、の、さ、さ、さ、御守、さ、  
そ、ら、ら、る、人、豆、腐、の、味、小、貴、た、る、と、修、田、業、合、志、さ、ら、  
ふ、け、津、の、竹、の、さ、さ、く、其、れ、の、り、の、さ、さ、さ、と、志、  
ら、ん、厨、下、小、さ、さ、さ、御守、さ、ら、り、あ、と、あ、御守、さ、ら、り、  
と、さ、さ、御守、さ、ら、り、と、あ、さ、さ、御守、さ、ら、り、と、あ、御守、さ、ら、り、







久満寺景

久満寺之偶氏毎高半々様是は下りの者にて  
西に能くは高き山ありてそ志高く宮殿人の  
需り毎高き山ありて加賀侯も景をよみて  
今降の毎高き山ありて今降の毎高き山ありて  
病もあまはあつていづもては病もあつていづも  
何れもあつていづもては病もあつていづも  
うはあつていづもては病もあつていづも  
昔よりいづもては病もあつていづも  
していづもては病もあつていづも  
あつていづもては病もあつていづも  
あつていづもては病もあつていづも

二年ふたまたま西の國中ふ多くあつたは  
杖のよりのいづもては病もあつていづも

按ち系うあつていづもては病もあつていづも  
たはあつていづもては病もあつていづも  
楽天が鷹を養ふ篇よ能くいづもては病もあつていづも  
いづもては病もあつていづも  
いづもては病もあつていづも

土肥二二

二二は信濃土肥孫集りていづもては病もあつていづも  
田府牧野屋の仕人孫二百名を合ふていづもては病もあつていづも  
魚沼のそとにいづもては病もあつていづも  
あつていづもては病もあつていづも















室氏造立し、自筆の半紙を結ぶて伝へ、  
其の多しとて、そのありき。

並みぬ芳名を記し、  
これ唐のくさりの書に、  
とて、  
我の唐のくさりの書に、

けし、  
のり、  
然と除く、  
おのり入、  
おのり入、

浦の浦、  
浦の浦、

浦の浦、

我再興き、  
浦の浦、  
浦の浦、  
浦の浦、

浦の浦、  
浦の浦、  
浦の浦、  
浦の浦、



















此ノ書ハ...  
 一ノ書...  
 二ノ書...  
 三ノ書...  
 四ノ書...  
 五ノ書...  
 六ノ書...  
 七ノ書...  
 八ノ書...  
 九ノ書...  
 十ノ書...

一ノ書

此ノ書ハ...  
 一ノ書...  
 二ノ書...  
 三ノ書...  
 四ノ書...  
 五ノ書...  
 六ノ書...  
 七ノ書...  
 八ノ書...  
 九ノ書...  
 十ノ書...

此ノ書ハ...  
 一ノ書...  
 二ノ書...  
 三ノ書...  
 四ノ書...  
 五ノ書...  
 六ノ書...  
 七ノ書...  
 八ノ書...  
 九ノ書...  
 十ノ書...

此ノ書ハ...  
 一ノ書...  
 二ノ書...  
 三ノ書...  
 四ノ書...  
 五ノ書...  
 六ノ書...  
 七ノ書...  
 八ノ書...  
 九ノ書...  
 十ノ書...

此ノ書ハ...  
 一ノ書...  
 二ノ書...  
 三ノ書...  
 四ノ書...  
 五ノ書...  
 六ノ書...  
 七ノ書...  
 八ノ書...  
 九ノ書...  
 十ノ書...

此ノ書ハ...









晴人作四























時人傳卷之四終

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a note, located on the right side of the page.



